

耶麻農高 農場便り

# あ・ぐ・り

Agriculture～農業～

## 第27号

平成24年4月28日発行

発行責任者  
農場長 星久一郎

### 農場長より

農場長を務めます、星久一郎です。よろしくお願ひします。昨年は震災や大雨の被害など災害の年であった訳ですが、幸いにして喜多方地域は、キノコの原木栽培以外、放射能汚染による出荷制限等がなかったこともあり、農場の生産物は肉用牛の風評被害による減収を除けば、例年の販売量に近い状態を保つことができました。野菜や草花は地区内への販売がほとんどないのですが、インターネット販売においては、中通り・いわき地域への出荷が増えた一方で、県外への出荷が減少し、総量においても減少しました。

農場施設・設備の整備においては、農業機械では、管理機・スライドモアア・動力噴霧機器など6点が導入され、森林自然学習事業において、炭窯や炭焼き小屋など炭焼き学習用施設ができる運びとなりました。

### 作物部門

作物部門は今年度、水稻(コシヒカリ・天のつぶ・紫黒米)3.3ha、そば(会津のかおり)3ha、サツマイモ(にしき)10a、その他試験栽培用としてエゴマ・ダイズ・ワタ・ラッカセイ・コンニャクなどの栽培を予定しています。作物を専攻する3年が8名、2年生が5名でそれぞれ研究テーマを設けて取り組んでいます。3年生は水稻品種コシヒカリ、福島県オリジナル品種「天のつぶ」、古代米「紫黒米」との比較試験などに取り組んでいます。2年生は畑作物を中心とした研究で、各作物の生育や品種比較試験などに取り組んでいます。

作物専攻生はそば打ち技能習得に向けて、外部講師による講習会を実施しています。放課後のそば打ち練習会と合わせて取り組んで、そば打ち初段位を取得した3年生もいます。



星久一郎



安部 稔

### 畜産部門

今年度の活動として、生産関係では、現在受胎牛1頭が6月に出産する予定です。次に肥育牛は、6月・7月にかけて4頭出荷する予定です。昨年は牛肉の値段が安かったため、目標額を下回ってしまいました。今年は良い結果になることを願っています。

プロジェクト学習は、3年生は昨年に引き続き《肥育牛の生育調査を試みて》というテーマで一年間調査・研究を行います。2年生は《仔牛の成育調査を試みて》というテーマで2年間調査・研究を行います。そして、三学期に行われる校内研究発表大会で充実した発表ができるよう指導していきたいと思ひます。

昨年の家畜審査競技は震災の関係で開催が中止になり、今年度も震災の影響で開催は未定です。



吉田 勇人



江川 純司

### 野菜部門

野菜部門は、各種多様な野菜の栽培・販売実習を行う予定です。また、夏野菜苗の販売も行いたいと考えております。苗の生育が低温により多少心配ですが、5月2日(水)3時半から4時半にかけて各種苗の販売をいたしますので、多くの皆様のおいでをお待ちいたします。詳細は町の防災無線「広報やまと」にてお知らせいたします。

プロジェクト学習では、畑の準備・種まきから収穫まですべての管理を自分ひとりで取り組ませており、3年生は研究テーマを昨年度より更に高度なものに変えて調査研究に励んでいます。



永井 國之



小塚 勇樹



白岩 正則

### 草花部門

今年度の生産計画を説明します。花壇用の苗は約4,000ポットを生産。鉢物の代表シクラメンが400鉢。その他の鉢物(カンナ・ペチュニア・トレニア・観賞用とうがらし・プリムラ類・シネリリアなど)が1,200鉢の生産となります。ただいま温室の中は、花壇用の苗もの生産と、5月の中旬に売り出す予定の「カンナ」が温室を占領しています。花壇用苗(サルビア赤、青・マリーゴールド・ペゴニア等)は予約受付中!昨年来、「昔は販売に来ていたが最近来ない」とよく耳にします。地域で要望があれば販売させていただきたいと思ひます。是非ご一報ください。数がそろえば配達もします。

なお、昨年からの喜多方市からの要請で喜多方駅と市役所入り口付近に巨大オブジェを設置しておりますので、近くにおいでの際はお楽しみください。



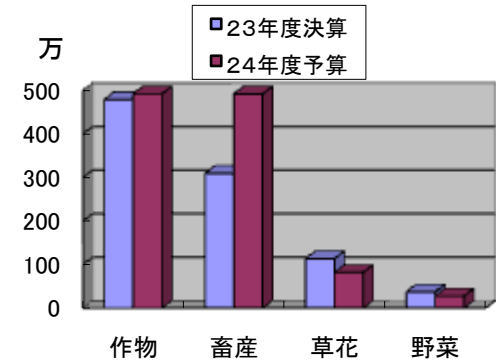
菊地 庸雄



長峰 一真

### 農場会計

昨年度は、震災・原発の影響で畜産物の風評被害が大きく、枝肉価格が通常の価格より40%ほど下まわりました。さらに7月には会津地域を襲った大雨により、水稻の揚水施設が被害を受け、15%近い収量減となりました。農産物における風評被害も少なくはありませんでしたが、地元で消費される部分が多いので大きな減収には至らず、野菜や草花、そばなどは、良好な作柄に終わることができました。今後の状況によっては今年度は回復も見込めます。なお、各部門の23年度決算額及び24年度予算額は、右のグラフのとおりです。



### 農業クラブより

今年度の農業クラブは、一致団結を目標に多くの大会(種目)に出場できるように活動しています。昨年度は、震災の影響で技術競技大会の農業鑑定競技と測量競技が中止となりましたが、今年度は実施されますので入賞できるように日々努力しています。これから校内大会が行われ、代表者は県大会に出場します。そして、さらに東北大会、全国大会に出場したいと思ひています。

日頃からお世話になっている地域住民の皆様へ感謝の意を込めて、農業クラブ執行部が中心となり通学路の清掃活動を毎月1回行って行く予定です。

最後になりましたが、産業技術科の生徒は全員が農業クラブ員です。元気な活動の様子を保護者の皆様へ報告できるよう頑張っていきたいと思ひます。